

平成23年3月18日

足立区立第九中学校

学校長 本田 邦雄 様

足立区立第九中学校 開かれた学校づくり協議会

平成22年度 学校関係者評価書

1. 自己評価書全般について

- 昨年同様、丁寧で分かりやすく作られている。
- 評価は概ね妥当である。
- 達成度が概ね良好でよい。校長先生を初めとする先生方の努力の跡が見られる。

2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

- 重点的な取組事項1…生徒の学力の定着を図る
授業時間数を増加させると共に、個人差に応じた指導のために補習活動をして、概ね目標達成したのは良かった。ただ、二極化の傾向は昨年同様である。改善を要する。
- 重点的な取組事項2…生徒の心身の健全育成を図る
学校生活における2年生の充実度が昨年に比べ上がっているのは良かった。また、教科授業に対する意欲も同様にアップしている。さらなるアップに向けて、先生方のより一層の工夫を望む。厳しくとは、解るまで丁寧に我慢強く教えることである。
一方、部活動に対する充実度は概ね良好であった。また、都大会準優勝などの実績も残した。
- 重点的な取組事項3…評価改善の質を高める
評価係を推進役として、指標を明確にして計画的に実施し、全教師の共通の目的となるようにする点は概ね達成されたようであるが、関係者評価に関してはまだまだ改善の余地がある。
- 保護者・地域への期待
「保護者や地域は九中の現況を維持向上させようとの意欲がある」との評価をいただき嬉しく思う。後援会を中心にさらなる協力・援助をしていきたい。

3. その他

- 文武両道はもちろん、新たに「強豪から勇者へ」のスローガンを掲げ、徐々に意識改革を行っている。
- 生徒に対しては、優しく・厳しい指導を行っており、昨年のような事件を起こす生徒がいなかったのは良かった。
- 昨年に比べ、学校内で起きている問題や現状などをオープンに協議会メンバーに伝えており、校長との距離は近づいている。ただ、協議会メンバーと一般教師との交流の場を設け、意見交換ができることさらにいいと思う。
- 九中はスポーツ学校という風評は払拭したい。